

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2020年3月29日 NO.1047

きらとみひに
吉良富彦 です

事務所 新屋敷事務所 823-5878
 事務所 薊野事務所 846-2046
 議会控室 823-9524



ビキニ被災船員救済へ 真摯な取り組みを

●6日、定例県議会質問に立ち、本年度中に実施されることになっていた県主催のシンポジウムと相談会が、これまでの議会答弁で示された被災者に寄り添うものとは程

遠いものとなっていることを厳しく批判し、内容の再検討を求めました。シンポジウムは県の取り組みの遅れから3月実施となり、コロナ感染拡大と重なり結局、延期となって開催されていません。



しんぶん赤旗 3/11

被災者二ビキ 被害者に寄り添って

高知県議会 吉良氏が県を批判

日本共産党の吉良富彦高知県議は6日、県議会で一般質問に立ちビキニ被災問題などをただしました。

県が昨年11月から取り組んだビキニ被災船員の健康相談会は全県で2人の参加にとどまっています。吉良氏は周知が徹底していないことなどを批判。3年前の前の回の相談会は医師の健康相談にくわえ、太平洋核被災支援センターが生活相談にも取り組むなど、船員や遺族を励ます会となったことに言及。前回と同様のやり方に戻すことや、地域を回って、元船員や遺族に寄り添うことを求めました。鎌倉昭浩健康政策部長は元船員の意見も聞いて検討したいと答えました。

吉良氏は、新型コロナ

●ビキニ核被災検証会

イン高知2020
①ファイルドワーク室戸
3月29日(日)

12時30分〜午後3時

室戸港見学、室戸船員組合で

被災船員・遺族との座談会

②核被災検証会「ビキニ事件の実相を伝え、広げる」

3月30日(月) 高知城ホール

10時30分〜12時

参加費500円

・提言「ビキニ被災船員の健康問題と労災申請で問われたもの」

提言者II 間間元医師・ビキニ水爆被災事件静岡県調査研究会代表

・報告橋田早苗さん「ビキニ紙芝居上映と全県原画展を開いて」岡村啓佐さん

「第五福竜丸展示館・オーストラリアのビキニ写真展と講演」

(主催・太平洋核被災支援センター&核被災検証会)

※尚、労災訴訟に向け「ビキニ労災訴訟を支援する会」

結成総会を午後1時、午後2時に高知地裁提訴が予定されています。

オンラインにゃんでも通信

